

内科

循環器内科

TEL 022-717-7728(外来)

科長 安田 聡



診療科WEB



外来担当医表

当科では、循環器疾患に対するカテーテル診断を年間約1,400例施行しています。重症大動脈弁狭窄症例に対してはハートチームのもと経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)を年間約60例、更に重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術にも取り組んでいます。

不整脈領域では心房細動を含む頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療を年間約200例施行しています。ペースメーカー、両室ペーシング、植込型除細動器などあらゆるデバイス治療を行っております。

心筋疾患、弁膜症等に伴う重症心不全は当科の重要な治療ターゲットで、心臓血管外科と協力して補助人工心臓[補助循環用ポンプカテーテル(インペラ)を含む]による治療を行っています。慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する肺動脈バルーン拡張術を年間約70件施行しています。

また当科では、低侵襲検査法による疾患の病態解明を重視しています。心臓MRI検査を用いた多面的解析に加え、冠動脈CT検査での動脈硬化病変の量的・質的解析、ポジトロン断層撮影(PET)・心筋シンチ検査などの心臓核医学検査により心筋虚血を評価しています。

主な対象疾患

虚血性心疾患：狭心症、心筋梗塞／心臓弁膜症(大動脈弁狭窄症など)／心筋症：拡張型心筋症、肥大型心筋症、高血圧性心筋症、不整脈原性右室心筋症、心ファブリー病、心サルコイドーシス、心アミロイドーシス／心筋炎／肺高血圧症：肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓性肺高血圧症／徐脈性不整脈：洞不全症候群、房室ブロック、徐脈頻脈症候群／頻脈性不整脈：心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍、心房性期外収縮、心室性期外収縮、心室頻拍、心室細動、Brugada症候群、QT延長症候群／成人先天性心疾患／静脈血栓塞栓症／がん治療に伴う心疾患：薬剤性心筋症、放射線性心膜炎